

室戸市議会だより

発行/室戸市議会
 編集/室戸市議会
 議会だより編集委員会
 住所/〒781-7185
 高知県室戸市浮津25-1
 連絡先/0887-22-5140
 題字/谷 通子

常任委員会 管内視察



平成29年6月第4回室戸市議会定例会 会期・日程

6月議会質問者



林 竹 松
 小 椋 利 廣
 町 田 又 一

月 日	曜日	会の種別	摘 要	月 日	曜日	会の種別	摘 要
6月16日	金	本会議	開会・提案理由の説明・委員長報告	6月24日	土	休 会	
6月17日	土	休 会		6月25日	日	休 会	
6月18日	日	休 会		6月26日	月	休 会	事務整理
6月19日	月	本会議	一般質問	6月27日	火	休 会	事務整理
6月20日	火	本会議	大綱質疑・委員会付託	6月28日	水	休 会	事務整理
6月21日	水	休 会	委員会	6月29日	木	休 会	事務整理
6月22日	木	休 会	事務整理	6月30日	金	本会議	委員長報告・討論・表決・閉会
6月23日	金	休 会	事務整理				

第4回定例会・議決結果一覧表・議案の説明

〈第4回定例会議決結果一覧表〉

議案番号	件 名	議決年月日	結 果
議案第1号	平成29年度室戸市国民健康保険事業特別会計第1回補正予算の専決処分の承認について	29年6月30日	承認
議案第2号	室戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	29年6月30日	原案可決
議案第3号	室戸市老人憩の家設置及び管理条例の一部改正について	29年6月30日	原案可決
議案第4号	室戸市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について	29年6月30日	原案可決
議案第5号	室戸市肉用牛導入資金供給事業基金条例の制定について	29年6月30日	原案可決
議案第6号	平成29年度室戸市一般会計第1回補正予算について	29年6月30日	原案可決
議案第7号	平成29年度室戸市国民健康保険事業特別会計第2回補正予算について	29年6月30日	原案可決
議案第8号	平成29年度室戸市介護保険事業特別会計第1回補正予算について	29年6月30日	原案可決
議案第9号	平成29年度室戸市水道事業会計第1回補正予算について	29年6月30日	原案可決
議案第10号	平成28年度(仮称)むろと海の学校及び集落活動センター整備事業校舎等改修工事請負契約の変更について	29年6月30日	原案可決
議案第11号	市道路線の廃止について	29年6月30日	原案可決
議案第12号	市道路線の廃止について	29年6月30日	原案可決
議案第13号	市道路線の認定について	29年6月30日	原案可決
議案第14号	市道路線の認定について	29年6月30日	原案可決
議案第15号	市道路線の認定について	29年6月30日	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	29年6月30日	適任
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	29年6月30日	適任

〈議案の説明〉

議案第6号関係 平成29年度室戸市一般会計第1回補正予算について

歳入歳出予算はそれぞれ2億5,053万4千円を追加し、総額128億855万5千円とするものであります。

歳出の主なものは、財政調整積立基金積立金1億2,000万円、集落活動センター東屋設置事業費1,933万円、企業誘致奨励金1,503万5千円、(仮称)むろと海の学校及び集落活動センター整備工事費1,413万5千円、海洋深層水体験交流センターエアコン更新工事費1,217万2千円、高岡消防屯所用地購入費1,229万円の追加等です。

議案第7号関係 平成29年度室戸市国民健康保険事業特別会計第2回補正予算について

歳入歳出予算はそれぞれ320万円を追加し、総額36億8,238万9千円とするものです。

議案第8号関係 平成29年度室戸市介護保険事業特別会計第1回補正予算について

歳入歳出予算はそれぞれ4,451万6千円を追加し、総額23億6,706万1千円とするものです。

議案第9号関係 平成29年度室戸市水道事業会計第1回補正予算について

椎名配水管布設替りに伴う資産減耗費に100万円を追加し、収益的支出の総額を3億94万3千円とするものです。

諮問第1号関係 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員に 竹本 昭光 氏を推薦するものです。

諮問第2号関係 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員に 松本 大成 氏を推薦するものです。

6月定例会
《一般質問とその答弁》

小椋利廣 議員

☆市政全般について

問：ふるさと納税の返礼品額を総務省が3割以下と目安を設定したが、室戸市は何割とするのか。生産者に与える影響と新商品の開発、寄附額の想定はどの様に考えるのか。

答：現在は送料を含めて7割だが、送料を除き3割以下を前提に協議を行い、年内を目処に切り替える予定。特産品の売上は4億円に上り、生産者の所得向上や経済効果に繋がってきたが、返礼品額の減少による寄附額の減少も想定されるので、特産品の売上も減少が見込まれ、減少を食い止める魅力的な返礼品の開発を進め、他の自治体と連携した特産品のセット等の返礼品の推進を図り、5億5千万円の寄附額を目標に取り組み。

問：市内に救急病院が無く、搬送先が田野病院や、あき総合病院となった今、搬送距離も長く中山間地域で緊急事態が発生すると、命が危ない状況が予想される。中山間地域や各地域にヘリコプターの離着陸場の建設はできないか。

答：県の災害時におけるヘリコプター離着陸場適地一覧では、室戸市は21カ所が示されており、大規模災害や非常時に備え、離着陸場の適地について引き続き調査を行う。

問：国立室戸青少年自然の家を平成28年度の稼働率が、48・7%となり、本年度の稼働率が50%を切ると施設の廃止や統合の検討対象になると思われるが、どのような協力体制で取り組むのか。

答：自然の家は青少年の自然体験の場で、地域の雇用や地域経済にも重要な施設だと認識しており、職員の宿泊研修や小学生の宿泊通学体験を行っている。韓国の野球合宿受入れの支援対策や合宿誘致の推進等、今後利用促進に取り組み、利用者数の拡大を図る。

問：国民健康保険法等の一部を改正する法律により、平成30年度から、国保会計は県下一円の会計に移行するが、赤字解消の方法と事務取扱はどうなるのか。

答：県一に移行する時期の状況を見極め、早い段階で赤字解消に努める。平成29年12月頃県から各市町村に標準保険料率が示される予定だが、税率は各市町村が決定し、市町村一律の税にはならないと考える。県が財政運営の責任主体となり、

国保財政を管理し、国保運営方針の策定や納付金の決定、及び標準保険料率の算定等を行うが、市の業務については、従来と変わらない。

問：市内の医療機関の先生方も高齢化になってきたが、医師の確保や医療体制にどう取り組んで行くのか。

答：室戸岬診療所では、佐喜浜診療所、高知高須病院、室戸クリニック、むろとびあ医院、県立あき総合病院の医師4人の先生方のご協力で、週2回の診療を維持している。これまでも、医師の先生方を訪問して、室戸市の医療確保のため、ご協力をお願いして来たが、大変厳しい状況にある。今後どのような地域医療が必要か、指定管理者制度も含め、地域医療の確保対策に総力を挙げて取り組むたい。

問：「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の意見交換は。

答：安田町に内閣府サテライトオフィスが開設、地方創生関係交付金の活用促進について意見交換を行う。本市の人口ビジョンや総合戦略の概要、交付金活用の事業内容や医療問題の現状を説明、移住促進室が取り組む無料職業相談業務の課題等、助言を受ける。

町田又一 議員

☆医療について

問：医療機関の縮小は今、室戸にマイナスの連鎖反応を起している。その対応策について聞く。

答：室戸岬診療所については、平成28年度は8ヶ月間で、延べ57人の方が、直近の5月では、延べ91人の方が受診をしている。また、経営状態については、平成28年度では設備投資を含めて、約1,290万円の赤字補填となったが、設備投資を差し引いた診療運営に係る費用の赤字額は約490万円となっており、当初の見込み金額よりは少なくなっている。次に、医師の確保については、県立あき総合病院からの派遣医師の増員等について要望を行うと共に、将来の地域医療の展望も見据え、意見交換会を行うなど、高知大学医学部との連携を深めていく。また、自前医師の雇用も考えているが、他の市町村の事例では医師の給与として、1,300万円から2千万円などで公募を行っている事例がある。しかし一方で、公募により採用した場合、短期間で退職されることなど、財政負担と共に、様々な問題点もあるようだ。慎重な対応が必要である。今後とも

☆ふるさと納税について

問：ふるさと納税の返礼品を寄附額の3割以内にするよう国が求めている。市の取り組みはどうか。

答：具体的な返礼品の見直しについては、寄附額に対する返礼品の調達価格の割合について、送料を除いて3割とし、送料に手間賃相当額を加算するなど、なるべく生産者にとつて負担のないような形で見直しを行っていきたい。また、返礼品の見直しにより、本市への寄附額が一定減少すると想定しているが、生産者の方や他の自治体等との連携を強化し、新たな返礼品の開発や情報発信等を積極的に行うことにより、寄附額の減少を食い止め、平成29年度当初予算に計上している5億5千万円を目標に努力をしていく。なお、本市から他市町村への寄附の状況については、平成28年度は、56名の方が409万2千円を寄附している。一方、本市への平成28年度の寄附額は、6億1,780万5,550円となっており、返礼品の販売などにより経済効果につながっている。今後とも、ふるさと納税による

自主財源の確保、生産者の所得向上や地域産業の振興などに努めていく。

☆観光への取り組みについて

問：（仮称）むろと海の学校の整備と今後の運営について聞く。

答：（仮称）むろと海の学校は、閉校となった小学校をミニ水族館などとして活用する全国でも珍しい施設であると同時に、海の生き物を学ぶ場として、子供たちの教育にも役立つと考えている。また、室戸沖の設置

総務文教委員会委員長報告（抜粋）

平成29年6月定例会

「議案第2号 室戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について」

「室戸市 特定教育・保育施設の特定とは、どういう意味合いがあるのか。」と質疑があり、「内閣府令が特定教育・保育施設として定めている関係で、これに準じて使用している。この特定教育・保育施設というのは、幼稚園、保育所、認定こども園の3施設を示しているものである。」と答弁があった。

次に、「保護者が教育と保育のどちらかを希望した場合はどうなるのか。」と質疑があり、「本市には幼稚園はなく、保育所しかないため、保育の中

網で捕れる希少な魚類を飼育・展示することができ、室戸ならではの施設となる。更に観光施設としてだけでなく、大学や専門学校などと連携を図ることで、海洋生物を研究している研究生の受入を行うなど、研修施設としての活用も期待され、他の水族館との連携により、広く室戸市をPRできる。単に見るだけでなく、魚やウミガメとふれ合うことができる体験型施設となるよう取り組んでいく。

で教育を提供できる状況にはなっていないが、国の法令に準じた一定の条件整備が必要であることから、今回 条例を改正するものである。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

「議案第6号 平成29年度室戸市一般会計第1回補正予算について」

☆企画財政課関係

「工事請負費、集落活動センター東屋設置工事費。」について質疑があり、「この東屋の部分については、補助金交付申請の関係もあり、県と協議を進めながら、今後の設計の中で規模等も含め、事業内容を精査しながら実施をして行く。」

と答弁があった。

次に、「地元が指定管理を受けて東屋を運営することだが、その組織構成や収支計画はどうなっているのか。」と質疑があり、「指定管理については、地元である椎名常会にお任せをする予定であり、収支計画などを含めて管理していくことになる。その椎名常会の中に若い世代を含め、25名のメンバーで構成をされた集落活動センターの運営委員会が設立されており、この委員会を中心となって運営していくものと考えている。市から指定管理料を支出する考えはなく、相手側から使用料を徴収することは今のところは考えていない。」と答弁があった。

☆消防本部関係

「公有財産購入費、消防施設用地購入費。」について質疑があり、「高岡消防屯所の移転用地購入費である。場所は3月

定例会の議案資料説明にて示しており、今回は金額だけで説明をした。面積は、国道入口用地と建設予定地の2筆で、計2,181平方メートルであり、建設予定地の平米当たり単価は、4,850円、国道入口用地では12,800円である。」と答弁があった。

次に、「自家給油施設設計委託料の建設予定地。」などについて質疑があり、「施設の建設予定地は室戸高校の入り口付近である。給油作業を行うには、乙種、若しくは丙種の危険物取扱者免状の取得が必要

であり、この免状を取得した消防職員が給油作業を行うこととなる。なお、室戸市消防本部職員36名中30名が、乙種及び丙種の危険物取扱者免状を取得している。」と答弁があった。

☆総務課関係

「備品購入費、情報管理用備品購入費。」について質疑があり、「エフビットスタジオに設置をした、無停電電源装置のバッテリー等の老朽化に伴う取り替えである。施設整備は市が全て行っており、今回補正するものである。」と答弁があった。

次に、「バッテリーは何年もつか」と質疑があり、「耐用年数は4年間位であるが、停電の回数や湿度・温度などによって寿命が左右される。」と答弁があった。

☆産業振興課関係

「修繕料について、スジアオノリ施設の何処を修繕するのか。」と質疑があり、「スジアオノリ施設の外周を仕切っている金属フェンスが腐食をし、劣化しており、それを修繕するものである。」と答弁があった。

☆防災対策課関係

「負担金補助及び交付金、災害対応型給油所整備促進事業費補助金について、災害対応型給油所の場所は何処か。」と質疑があり、「エネオス室戸サービスステーション、エネオス新道室戸サービスステーション、浜田石油店を予定している。」と答弁があった。

「工事請負費、老人憩いの家改修工事費の工事場所はどこか。」と質疑があり、「室戸岬老人憩いの家を旧室戸岬保育所に移転する工事と、佐喜浜町の都呂老人憩いの家の老朽化に伴う工事費である。」と答弁があった。

☆保健介護課関係

「工事請負費、（仮称）むろと海の学校進入路新設工事費。」について質疑があり、「現在、国道からの進入路の整備を建設課が行っているが、そのまま真っ直ぐグラウンドに入ってきて来るような工事になる。」と答弁があった。

市民課、人権啓発課、福祉事務所、生涯学習課、財産管理課、学校保育課につきましては、特段の質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

産業厚生委員会委員長報告（抜粋）

平成29年6月定例会

「議案第1号 平成29年度室戸市国民健康保険事業特別会計第1回補正予算の専決処分

の承認について」

「国保会計は2億4千万円ほどの赤字だが、一般会計から

第4回定例会・委員長報告

の操出金を除いた単年度収支はいくらか。」と質疑があり、「6,406万9千円の黒字となっている。」と答弁があった。また、「ジェネリック医薬品の利用促進に取り組んでいるが、効果は出ているか。」と質疑があり、「6年ほど前から取り組みを始め、6年間で1億2千万円ほど薬剤費が削減できている。」と答弁があった。採決の結果、本案は承認すべきものと決した。

【議案第3号 室戸市老人憩の家設置及び管理条例の一部改正について】

特段の質疑もなく、採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

【議案第4号 室戸市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部改正について】

「主任介護支援専門員の資格要件と仕事内容はどのようなものか。」と質疑があり、「資格要件として、介護支援専門員の有資格者で5年以上の実務経験があり、かつ専門研修課程を修了した者である。仕事内容は、介護保健サービスや他の保険医療サービスを提供する者との連絡調整、介護支援専門員に対する助言・指導を行う等である。」と答弁があった。

また「室戸市に主任介護支援専門員は何名いるのか。」と質疑があり、「室戸市内には6

名いる。そのうち1名は包括支援センターの職員である。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

【議案第5号 室戸市肉用牛導入資金供給事業基金条例の制定について】

「既に牛を飼育している農家が頭数を増やしたいという場合は、この制度は利用できるのか。」と質疑があり、「新規就農だけではなく、既に牛を飼育している場合でも対象となるため、利用可能である。」と答弁があった。

また、「貸付金に対して利子は発生するのか。」と質疑があり、「利子は発生しない。無利子での貸付となる。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

【議案第7号 平成29年度室戸市国民健康保険事業特別会計第2回補正予算について】

「特別調整交付金から国保制度関係業務準備事業費補助金に振替をおこなっているが、制度の改正等があったためか。」と質疑があり、「当初は調整交付金で計上していたが、実際は事業費補助金として補助を受けるため、項目を振り替えたものである。」と答弁があった。採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

【議案第8号 平成29年度室戸市介護保健事業特別会計第1回補正予算について】

「今後、介護保険料は下がる可能性はあるか。」と質疑があり、「3年ごとに介護保健事業計画を策定し、その際に介護基準額を確定するようになる。今回は30年度から3年間の計画を本年度に策定するように

なるが、現在ニーズ調査をおこなっている段階であり、今後、人口推移や介護サービス量等を算定して基準額を決定するため、現時点での明言は難しい。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

【議案第9号 平成29年度室戸市水道事業会計第1回補正予算について】

「権名の配水管布設工事は海の学校に関連したものだと思われるが、一般会計から操出をする等の話はなかったか。」と質疑があり、「今回の工事は海の学校に関連したものでなく、水道管の老朽化のため、ゆくゆくは布設替え工事が必要なものを、観光ジオパーク推進課の取水管布設工事と同

時進行で、先行しておこなうものである。同時進行でやることで30万円ほど工事費が抑えられると考える。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

【議案第10号 平成28年度（仮称）むろと海の学校及び集落活動センター整備事業校舎等改修工事請負契約の変更について】

「プールから出る排水はどう処理をするのか。」と質疑があり、「沈殿槽に排水を通し、ゴミやにおいを取ったうえで排水路に流すようになる。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

【議案第11号 市道路線の廃止について】

【議案第13号 市道路線の認定について】

【議案第14号 市道路線の認定について】

「市道畑古矢1号線は何故このような残り方をしているのか。」と質疑があり、「県道佐喜浜吉良川線は市道を拡幅していくルートで整備していたが、この区間については法線の関係上、2級河川の西の川の護岸沿いを通るルートとなっているため、旧市道畑古矢線の

一部が市道として残った。そのため、新たに市道認定するものである。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

【議案第12号 市道路線の廃止について】

【議案第15号 市道路線の認定について】

「市道を廃止新たに認定するよりは、新たに市道とする部分を追加認定したほうが経費がかからないのではないか。」と質疑があり、「国土交通省道路局長の通達事項のなかで、路線の起終点のいづれか、または双方が路線を認定した目的が変わる場合には、旧路線を一度廃止して、新たに新路線として認定するようにと規定している。今回の市道中尾線については、路線が市道から農道に変更となるため、どうしても一度廃止する必要がある。」と答弁があった。

採決の結果、本案は原案のとおり可決すべきものと決した。

所管事務調査に関する総務文教委員会委員長報告(抜粋)

平成29年6月定例会

総務文教委員会は、平成29年5月15日及び16日の2日間、委員7名が参加して本委員会の所管事務について管内視察を行った。

☆生涯学習関係

《室戸市中央公園相撲場》

生涯学習関係の室戸市中

中央公園相撲場では、施設の概要と過去3年間の利用状況等について説明を受けた。「施設の維持管理に関すること。」について質疑があり、「数年前に相撲用の鉄砲柱がシロアリ被害に遭い、駆除したことがありますが、近年はシロアリ被害の報告はなく、今後は現状を見

ながら被害調査を行っていく。土俵回りに人工芝を設置することについては、土俵回りだけで良いのか室内全部に設置した方が良いのか、土埃の問題も含めて検討していきたい。」と答弁があった。

また、「市内小中学校の行事を行うとか、競技スポーツを増やすなどといった取り組みを行うことで利活用が図られるのではないかと」と質疑があり、「今のところ、室戸高校女子野球部が使用しており、最近定着しつつある」「室戸マゼロックフェス」等、大きなイベントなどへの使い方もできるので、今後、情報発信を行っていききたい。また、学校行事への活用についても、学校関係者と検討をしていく。」と答弁があった。

☆室戸市立市民図書館

「利用者が増える働きかけをどのように行っているのか。」と質疑があり、「地道ではあるが、現在行っている小学校入学前の乳幼児を対象に読み聞かせをする「おはなし図書館」や、自分が読んだ本の履歴が貯まっていく「読書手帳」に取り組み、利用した事のない方の読書習慣を啓発していきたい。」と答弁があった。

☆吉良川教育集会所

「教育集会所の閉鎖の理由は何か。」と質疑があり、「教育集会所の財源となる国庫補助が廃止となったことから、市民館事業と統合して集会所の事業継続を行うことになったと

認識をしている。以前のような指導員を置いて盛んに行っている状況ではないが、一部の集会所では活用されており、集会所を閉鎖しているのではないので事業目的が達成されたとは認識をしていない。具体的には再開については、昨年度から検討しているところであり、集会所の管理方法等についても、今後検討をしていく。」と答弁があった。

☆学校保育課関係

☆むろと保育園

「高台移転事業の工事の入札内容等。」について質疑があり、「指名された設計業者は5社で、株式会社ライト岡田設計が落札をした。また、工事の指名業者は5社で、中勝建設株式会社落札をした。」と答弁があった。

☆元小学校

「学校敷地内にある個人名義の土地について説明を受けた。市への所有権移転登記については、ほぼ解決したという話を伺い、海外に住んでいる方が帰国をされた時に所有権移転登記を行うとのことから、その方と連絡を取り合っていたら、全体的に所有権移転登記ができるように頑張っていた。」と答弁があった。

☆羽根小学校

「いじめ問題における市内全校での取り組み。」について質疑があり、「アンケートをしつかりと取り、子供達の思いを確認して早期に対応ができる

ように関わって行く。」と答弁があった。

また、「プールの修繕やエアコンの新設等について、相談しても予算がないとの理由で断られることがある。ふるさと納税を子供の教育への財源に活用できないか。」と質疑があり、「エアコン等については、国の補助事業などで検討をしており、予算確保に努める。教育委員会として必要性を把握して子供達の健やかな育ちに努めていきたい。」と答弁があった。

☆羽根昭和保育所

「津波浸水地域に入っているのか。」と質疑があり、「少し浸水するエリアがある。山側へ避難する必要がある。」と答弁があった。

☆企画財政課関係

☆佐喜浜移住体験住宅

「施設を使用する場合の使用期間。」について質疑があり、「3回まで使用ができる。1回につき最長28日間である。」と答弁があった。

☆防災対策課関係

☆佐喜浜町浦津波避難タワー・岩戸津波避難タワー・羽根町坂本津波避難タワー

「スロープが設置をされていない津波避難タワーに、後からでも取り付けることはできないのか。」と質疑があり、「完成した津波避難タワーにスロープを取り付けるとなれば、構造上の問題等もあって難し

いものと考えているが、色々と検討をして行きたい。」と答弁があった。

また、「防災倉庫内にある物品の管理方法。」について質疑があり、「市が管理をしている備蓄品については、賞味期限が残り1年位で入れ替えている。また、自主防災組織が管理をする物品については、自主防災組織で管理をしていた。」と答弁があった。

☆消防本部関係

☆三津防災コミュニティセンター・菜生分団屯所・元防災コミュニティセンター

「菜生分団屯所の高台移転について、適地がなければ水産高校跡地を埋め立てて移転するのはどうか。」と質疑があり、「水産高校跡地については当初に計画をしていたが、最大浸水域が5m・10mということや海に面した土地でもあり、また浸水した時に孤立をするということなどで断念した経緯があります。場所の選定については、今後とも協議を進めて行きたい。」と答弁があった。

また、「室戸岬町の津呂分団と菜生分団を合併して高台移転するような計画はできないか。」と質疑があり、「分団の合併案については以前から話がありましたが、地域の住民が少なくなつた状況でも、団員を確保して防災力の維持に努めており、また現在、各分団においても合併の意向がない状況である。」と答弁があった。

☆財産管理課関係

☆旧国民宿舎むろと

旧国民宿舎むろとは赤字化の見込みもなく、また施設の老朽化に伴い、大規模修繕の必要性から平成17年度に廃業。平成19年度には施設の売却募集を行うが、解体費用や自然公園法等の問題もあつて具体化には至らなかつた。施設の解体費用については国費等の補助はないことや、隣接地への影響も少ないことから、現時点での解体予定はない。なお、今後の利活用については、新たな計画等が持ち上がり次第検討すると説明があつた。

☆人権啓発課関係

☆吉良川市民館

「市民館が実施する事業。」について質疑があり、「市民館の運営補助金である高知県隣保館 運営支援事業費補助金は、基本事業と特別事業とに分かれている。デイサービス事業などの補助対象経費を積み上げて請求をしている。」と答弁があった。

☆総務課関係

☆羽根出張所

「同一施設内に出張所と公民館があるが、どちらが借りているのか。」と質疑があり、「公民館の施設内に出張所を開所して下しなように、そのように取り扱っている。」と答弁があつた。

所管事務調査に関する産業厚生委員会委員長報告(抜粋)

平成29年6月定例会

産業厚生委員会は、平成29年5月11日及び12日の2日間、委員6名が参加をして本委員会の所管事務について管内視察を行った。

☆産業振興課関係

《室戸海洋深層水アクア・フアーム》

業務内容や給水許可件数等について説明を受けた。「海洋深層水の不用品が出ており、赤字の状況だが、一般市民や個人の方への営業は行っているか。」と質疑があり、「市民のための施設であるので、一般市民への営業や販売も広報で取り組んでいく。また市外の方や他の企業に対しても同じく取り組んでいく。」と答弁があった。

《キラメツセ室戸 楽市・加工場》

販売所や駐車場の状況等について視察し、説明を受けた。「地元産品を使用した食品等について、事業者と話し合いはされているか。」と質疑があり、「キラメツセと連携を取り、相談やアイデアを出し合っている。ジェラートの他、ピワジャムの製作等をおこなっている。」と答弁があった。

また、「今だに駐車場が狭い現状がある。これ以上の拡大は考えていないか。」と質疑があり、「これまでも面積を拡大

してきているが、対策をしてもすぐ手狭になってしまう。保安林や交通の関係もあり、管理者や地元の方との協議も必要となるが、今後も課題として検討をしていく。」と答弁があった。

《キラメツセ室戸 鯨館》

リニューアルされた展示品について説明を受け、VR(バーチャルリアリティ)の体験を行った。「リニューアル後の入館者数と入場料。」について質疑があり、「実績値ではないが、4月の入館者数は1ヶ月で1,000人だと聞いている。入館料については、大人の料金については増額しているが、高校生以下の子どもについては、学びの場として活用していただけるように無料としている。」と答弁があった。

また、「リニューアル後の展示物について、資料を提供した方々から批判の声が上がっている。展示物を入れ替えるにあたり、提供者の方にお話はしたのか。」と質疑があり、「今回の事業をおこなうにあたり、室戸鯨ネットワーク協会全体のなかで皆さんに説明をおこなったが、説明会に欠席されていた方々に対しては十分に説明をさせていたはずだ。と答弁があった。」

☆観光ジオパーク推進課関係

《中岡慎太郎像裏 展望台》

「展望台下の空き部屋の利活用。」について質疑があり、「高台にあり、避難場所になっているので、備蓄品を置く等の活用ができると思われる。防災対策課と連携し、観光面・防災面の活用を併せて検討していきたい。」と答弁があった。

また、「展望台の上がり口が分かりにくい」との指摘があり、「誘導案内板の設置等について、今後検討していく。」と答弁があった。

《室戸世界ジオパークセンター》

新たな展示物や体感ボックスについて説明を受けた。「ジオパーク活動によって、室戸市にどのような経済波及があるか確認できるものはあるか。」と質疑があり、「館内アンケートに来館目的についての項目はあるが、宿泊場所や何を食べたか等まで問うような項目はないため、これから追加していきたい。今後、ジオパーク活動に取り組むことによつて室戸市にどれ程の経済効果があるのか、目に見えるかたちで表せるように検討していきたい。」と答弁があった。

ジオパークについては経済効果のみにとどまらず、教育面や防災面においてもぜひ活用してほしいと思います。

《旧椎名小学校(仮称)むろと海の学校関係》

工事現場を視察し、工事の内容や現状について説明を受けた。「計画当初に上げている

年間4万人の集客数について、その数は実際に見込めるのかの話し合いはされているか。」と質疑があり、「オープン当初は計画の集客が見込めると思われるが、2年目以降は徐々に下がってくるのが考えられる。その点も考慮していかなければならぬ。」と答弁があった。

☆保健介護課関係

《室戸岬診療所》

診察室等を視察し、診療所の設備や診療時間、患者の状況について説明を受けた。「検査機器が充実していない、診療時間が曜日によってバラバラ等、診療所としての体を成していないと思われるが、通常の診療所の運営のあたりにはできないか。」と質疑があり、「医師との協議のなかで、高額な機器は不要ではないかという結論に至った。診療時間については、医師の先生方が自分の診療の合間を縫って来てくださっている状況のため難しい。先生が協力していただけの時間帯にお願いをしている状況である。」と答弁があった。

また、「週2回の診療日は今後も確保できるのか。」と質疑があり、「先生方には今後も継続して来ていただけるよう、協議やお願いを続けていく。」と答弁があった。

《あつたかふれあいセンター》

実際の活動の様子を視察し、事業内容や活動内容について

説明を受けた。「活動内容が介護現場のデイサービスと大差ないように感じる。」と指摘があり、「日や時間によって活動内容が異なる。視察の際は体操をおこなっていたが、囲碁やオセロ、手芸をしている時間もある。機能的には子どもから高齢者までが集まってもらう場所である。」と答弁があった。

また、「この事業についての補助金は1市町村に1施設までか。」と質疑があり、「この事業は知事の推奨で始まったものであり、1カ所だけではなくできるだけ多く設置してほしいということ、1市町村に1施設という制限はない。」と答弁があった。

☆建設土木課関係

《両栄橋》

図面と比較しながら現場視察をおこない、工事内容や計画について説明を受けた。市民にとって大変重要な橋です。ので、しっかりとした工事をおこなってほしいと思います。

《市道 愛宕山墓園線》

現在、工事が行われている現場を視察した。路面を舗装しない状態で置いた場合、泥水が下方へ流れてくるなどの話があるが、どのように処理をするのか。」と質疑があり、「工事が終わる次第、土嚢等を積んで排水ができるよう対処したいと考えている。」と答弁があった。

第4回定例会・委員長報告・閉会中の主な活動

《市道 庄毛西町2号線》

まだ水田である工事予定地を視察し、工事計画等について説明を受けた。「完成の見通し。」について質疑があり、「この市道は都市防災事業で計画をしていたが、社会資本整備総合交付金事業での整備となった。要望額に対しての割り当てが少なかつたため今年度は見送ったが、次年度また要望をかけていく。完成見込みは平成30年か31年頃を考えている。」と答弁があった。

《市道 椎名室戸線》

室戸高校東側に完成した待避所を視察し、説明を受けた。「この市道について、全体計画は作成しているのか。」という質疑があり、「全体計画は作成していない。待避所については、大型バスが利用できる待避所は延長50メートル程が必要となるが、火葬場付近で整備すると山の関係もあり事業費が大幅に増額する。このため、直線道路でもある手前に整備したものである。用地買収が可能であればもう1カ所くらい整備したいと考えている。」と答弁があった。

《市道 飛鳥西線》

旧椎名小学校との位置関係を見ながら現地を視察した。「説明では5メートル幅の道路と聞いたが、実際はもっと広く感じるが、どうか。」と質疑があり、「これは第3種第5級の道路であり、車道4メートル、路肩が50センチずつの計5メートルである。交差点

があるため、車道を2・5メートル拡張し6・5メートルとする必要があり、そのため広い道路となっている。」と答弁があった。

☆市民課関係

《室戸市火葬場》

施設の設備や内装、駐車場の視察をおこない、使用実績等について説明を受けた。「火葬場使用料改定後の金額は何を根拠としたものか。」と質疑があり、「近隣市町村の火葬場使用料の状況をみて設定したものである。」と答弁があった。

◎ 全国市議会議長会 第93回 定期総会において、次の方が永年勤続表彰されました。

《一般表彰》

- ・ 市議会正副議長職 4年以上
久保 八太雄 議員
- ・ 市議会議員 10年以上
谷口 総一郎 議員
濱口 太作 議員
久保 八太雄 議員
脇本 健樹 議員

閉会中の主な議会活動

- ◆ 3月25日 むろと保育園落成式に議長が出席
- ◆ 3月28日 安芸広域市町村圏特別養護老人ホーム組合議会定例会に議長出席
- ◆ 3月29日 ごめん・なはり線活性化協議会総会に議長出席
- ◆ 4月8日 第32回関西室戸会に議長出席
- ◆ 4月10日 総務文教委員会開会
- ◆ 4月11日 議会運営委員会開会
- ◆ 4月12日 第130回高知県市議会議長会定期総会に正・副議長出席
- ◆ 4月17日 産業厚生委員会開会
- ◆ 4月26日 第79回四国市議会議長会定期総会に正・副議長出席
- ◆ 4月28日 道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会通常総会及び道路整備促進高知県大会に議長出席
- ◆ 5月11日・12日 産業厚生委員会管内視察
- ◆ 5月15日・16日 総務文教委員会管内視察
- ◆ 5月19日 室戸高校生が議場見学
- ◆ 5月20日 関東室戸会定期総会に議長出席
- ◆ 5月21日 シレストむろとリニューアルオープン記念式典に関係議員出席
- ◆ 5月24日 第93回全国市議会議長会定期総会に議長出席
- ◆ 5月31日 AMA地域連携推進協議会総会に副議長出席
- ◆ 6月4日 高知県総合防災訓練・地域防災フェスティバルに議長、関係議員出席
- ◆ 6月10日 むろとの日記念イベントに副議長出席
- ◆ 6月13日 議会運営委員会開会

定例会の傍聴にお忙しくて来られない市民の皆様へ

行政の動きがご理解頂けるように編集委員一同、「簡明で判り易い紙面に!」の思いを込めて議会だよりを編集いたしました。

市民が安心して暮らせる郷土を目指し議員一同、より一層の努力をしておりますので、今後共ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

(編集委員一同)

議会の傍聴においでください。

次の議会定例会は
9月上旬です。

議会事務局
☎22-5140

